

■中堅職員研修事業業務 評価基準

審査項目	細事項		着眼点	配点
関連業務の実績	業務実績	(様式第3号 受注実績)	過去5年間に国県市区町村から受注した業務実績があるか。	10
実施体制	配置予定者の業務経験等	(様式第4号 配置予定者の業務経験等)	・講師は、本業務に関連した高い専門性及び豊富な研修実績を有するか。	10
	実施体制	(様式第5号 業務実施体制)	・本業務の実施に当たり信頼できる実施体制が確保されているか。 ・講師が事故等により登壇できなくなった場合やその他に不測の事態等が発生した場合におけるバックアップ体制が確立されているか。	5
	スケジュール	(様式第6号 業務のスケジュール)	・本業務を円滑に進められるスケジュールとなっているか。	5
企画提案書の内容	業務理解度	(様式第7号 提案内容)	・本業務の趣旨・目的を理解し、仕様書の内容を研修に反映した内容となっているか。 ・社会情勢の変化や国・地方公共団体等の最新動向を踏まえた提案となっているか。 ・薩摩川内市職員人材育成・確保基本方針を踏まえ本市を取り巻く状況や環境の変化を的確に捉え公務の実態に即した実践的な内容となっているか。	20
	実効性	(様式第7号 提案の実効性)	・実施方法が具体的かつ効果的なものであるか。 ・自ら考え行動変容へつなげるための工夫はあるか。	10
		(様式第7号 研修手法)	・既存の内容や手法にとらわれず、研修効果を高める効果的な手法が提案されているか。 ・受講者のモチベーション(受講意欲)を高く保つ工夫はあるか。	10
	有効性	(様式第7号 KPIとの関連)	・本業務の仕様書に基づくKPIの達成に寄与する提案となっているか。	10
	独創性	(様式第7号 独創性)	・提案者の実績を生かした工夫(独創性)がなされているか。	10
価格評価		(様式第8号 業務見積書)	価格評価点の配分(10点)×(最低提案価格÷当該提案価格) ※価格評価点は、小数点第4位(第5位は切り捨て)とする。	10
合 計				100